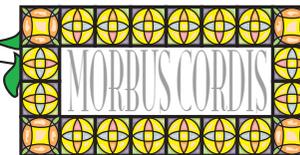




第48回滋賀県立成人病センター研究所セミナー



神経細胞の恒常性維持機構と精神疾患

京都大学医学研究科メディカルイノベーションセンター
CNS 制御薬研究ラボ TK プロジェクト

特定准教授 友田 利文 先生

4月18日（金） 午後6時～7時
場所：研究所会議室（1F）

神経細胞の正常な機能発現のためには、細胞内小胞輸送を介して、神経伝達物質やその受容体が時間空間的に適切に配置されることが必要である。近年、軸索輸送のメカニズムの研究から、この輸送制御に関わる分子群に精神神経疾患に関与することが明らかとなっているタンパクが複数同定されている。我々は軸索輸送制御の障害が精神疾患の病態生理の一部を説明できるのではないかと、いう仮説に基づき、特に、神経細胞の恒常性維持に大切なオートファジー（自食）という現象に着目して、新たな精神疾患治療の可能性を探っている。ショウジョウバエやマウスのモデル動物の特徴を生かし、薬理学、行動学を組み合わせた精神疾患研究への我々の取り組みを今回紹介させていただく。

主催：滋賀県立成人病センター研究所

問い合わせ先：研究所事務室（077-582-6034, 内線 8101）

世話人：谷垣 健二（専門研究員）tanigaki@res.med.shiga-pref.jp

来聴歓迎

